

子ども達の未来に寄り添ってみませんか...



会報 第3号

発行日 2022(令和4)年 1月 15日
社会福祉法人岩手愛児会内「杏の会」事務局
〒020-0102
岩手県盛岡市上田字松屋敷 11 番地 14
TEL:019-662-5696 / FAX:019-662-5695



岩手山 初冬景色

(撮影者:米沢俊一)

会員入会状況

〈 12月31日現在 〉

1月～3月	168 件
4月～7月	55 件
8月～12月	20 件
合計	243 件

※皆様からのご意見、ご感想をお待ちしております。杏の会事務局までメール又は FAX をいただければ幸いです。

今後の活動予定

- ▶杏の会理事会の開催
令和4年1月29日(土)
13時30分～
- ▶米沢院長講演会
令和4年1月29日(土)
14時30分～

※新型コロナウイルス感染症の影響により、予定を変更する場合があります。

米沢院長講演会視聴用 QR コード



Zoom での視聴となります。(先着 100 名)

今年は交流の機会を探りましょう

杏の会 理事 高橋 典成



新年おめでとうございます。
私の住んでいる長瀬野地区(西和賀町沢内)は、昭和46年集団移転して出来た新集落で50年が経過しました。
この間みどり学園、ことりさわ学園との交流も長く続いています。農作業や自然体験、ホームステイの受入れ、地区行事への参加等を通して、子ども達からたくさんの元気を地区住民が戴きました。昨年はコロナ禍でそれもできず残念でした。
人口の高齢化が進んでいる西和賀町にとって、子ども達の元気さは大変貴重です。
コロナだから事業や行事の中止や自粛が一般化してきました。感染防止は必要ですが、それを理由にすべて中止の風潮は一考を要することではないかと思っ

います。
今いまは可能な限り交流を深めたいものです。
2月は西和賀の豪雪の中での「雪灯り」行事があります。雪の中で灯るローソクの明りは幻想的です。大型スベリ台も作成予定です。(2月12日です。ちょっと来てみてください。)
私はワークステーション湯田・沢内を通して障がい者支援の活動をしています。障がいを持っていても西和賀町で生活できる条件づくりです。
障がいを持っていても、子どもでも、高齢者でも共に生きる地域づくりです。「福祉で町づくり」が私の目標です。岩手愛児会の理念とも共通すると思います。共に頑張らしましょう。

もりおかこども病院の30年と愛児会の歴史:今後のクリニックの使命

子どもは未来もりおかこどもクリニック 院長 米沢 俊一

愛児会はみどり学園とこども病院が共にずっと歩んできたという歴史がある。
昭和30年の結核療養から始まり、昭和44年みどり学園小児病院となり喘息・ネフローゼ・てんかん、慢性疾患治療に移行した。昭和50年代になり不登校の子どもたちが現れ、思春期病棟を増床して99床定床となった。その後、昭和61年に高砂子名誉院長が赴任してから、一般小児科診療に力を入れ始めて、平成2年に「もりおかこども病院」と名称変更した。
それからは小児救急二次輪番病院を担うとともに超重症児・慢性疾患、そして

不登校の子どもたちの診療を続け、その時々受け皿のない子どもたちの診療、社会的な小児医療を続けてきた歴史がある。
しかし、少子化と入院医療から在宅医療への医療の流れで入院患者数の減少により、病棟の維持が出来なくなり30年の歴史を閉じるに至った。しかし、病院設立理念にそって小児科クリニックは存続することになった。
今後は地域コミュニティー小児医療を進めて、小児科・家庭・学校・福祉の連携のもと、学校不適応児、自治体の子育て支援、予防医学を中心に診療を進めていくことがこのクリニックの使命と考えている。

◇岩手愛児会活動報告

○収穫祭(10月3日)



今年は、園児と職員で収穫祭を開催しました。恒例の縁日風な出店もさることながら、木工や缶バッチ、レジン(アクセサリ)などの制作も予想以上に盛り上がり、ボードゲームなどのコーナーでも、職員、子どもと一緒に楽しむ光景がありました。

○牧草会弁論大会(11月20日)



今年も密にならないように感染対策を講じながら、リモート中継も交えて弁論大会を開催しました。中学生が一人一人の目標や考えを堂々と発表しました。

○青春塾(12月)



＝親子の絆を深める作業療法＝
調理(豆腐入り白玉団子作り)を楽しみました。

社会福祉法人 岩手愛児会
後援会 杏の会 事務局

E-mail:
annzunokai@gmail.com

子ども達の未来に
寄り添ってみませんか…



Web サイト
URL:
<https://www.aiji.or.jp/publics/index/94/>

第6回 杏の会理事会のご報告について

1)令和3年10月23日(土)
13時30分～
場所:こもりうたホール

議題

- (1)会員加入状況について
- (2)今後の活動予定について
- (3)その他



《議事概要》

◇令和3年4月1日以降、新規加入者70名を加えた、延べ238名(10月16日現在の)の会員登録者状況について報告

◇会員を対象とした米沢院長による講演会を、令和4年1月に開催することを決定

【テーマ】

『もりおかこども病院の30年と愛児会の歴史』～今後のクリニックの使命～

◇本年4月から学校不適応児の心理援助・治療を目的として、ことりさわ学園とクリニックが連携して「児童心理援助・治療センター(以下、センター)」を立ち上げて、毎週水曜日の午前をセンターの外来日として活動を行っている旨を報告

◇会報(第3号)の発行(令和4年1月15日発行予定)

◇年会費の取り扱いについては、令和3年1月から本格的な会員の募集活動を行ったので、今後は『年度』での取り扱いではなく、毎年1月から12月末までの一年間加入者を対象として、会費納入の手続きを行うことを承認

令和4年 杏の会入会ご案内・会費納入について

本年の年会費に関する、納入のご案内です。

本年(会員期間:1月～12月)も引き続き会員としてご加入し、ご支援をいただける方は、

- ①同封の郵便振替の用紙を利用
- ②指定口座へ直接振り込み
- ③Web決済(クレジット)



このいずれかで手続きをお願いします。

皆様の入会をお待ちしております♪

編集後記

新年、明けましておめでとうございます。

新しい年の始まり、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

杏の会がスタートした昨年、早速、県内と全国各地の多くの方から、温かいご支援ご協力を戴きましたこと、ありがとうございます。

児童福祉施設の子ども達へ寄り添っていただける会員の皆様に、心より感謝の念を抱くとともに、心強さを感じた一年でした。

昨年の12月中旬、会報第3号発行に向け、6名の編集委員が集まって、編集会議を開きました。(もちろん、マスク会議！)

会員や様々な場面で協力を戴いている皆様に、「杏の会」の活動を限られた紙面で、どんな内容をどのようにお知らせし、お伝えできるか、そして次にどのように繋げるかということが、いつも悩むところです……が。

コロナ禍！ 負けないで会報を発行します。

結びに、今年も皆様にとりまして良い年でありますこと、ご祈念いたします。

(花籠)